

宮代町郷土資料館だより

えんがわ

第57号

巡回展 埼玉県東部地区の交通 開催

宮代町郷土資料館では、平成29年3月18日（土）から5月7日（日）まで、巡回展「埼玉県東部地区の交通」を開催しています。この展示会は埼玉県東部地区の15市町が「交通」をテーマに調査研究を行い、文化財調査報告書にまとめた成果を公表するものです。宮代町郷土資料館を皮切りに行田市郷土博物館、春日部市郷土資料館、八潮市立資料館などで展示会が開催される予定です。展示会は宮代町郷土資料館や八潮市立資料館、春日部市郷土資料館、三郷市立郷土資料館、蓮田市文化財展示館などでは資料展示を行い、幸手市民文化体育館、白岡市役所、パストラルかぞなどではパネル展示を行う予定です。

今回の展示会では明治19年の浦和停車場の時刻表や武州鉄道が描かれた水路図、東武日光線開通時の風呂敷、東武鉄道杉戸工場の制服、時刻表などの資料の他、各駅舎の写真、帆掛け船や蒸気船の写真、幻の鉄道の路線図など、東部地区の水上交通や陸上交通が全て分かるような展示となっています。

武州鉄道の路線が描かれた水路図には蓮田～岩槻～武州大門が描かれています。この他、計画線として北総鉄道も見られます。武州大門



水路図（武州鉄道路線）

駅が設置されたのは昭和3年12月25日で、北総鉄道が総武鉄道に名称を変えるのが、昭和4年11月17日のため、この水路図はその間に作成されたことが分かります。

明治19年3月の浦和停車場の時刻表には、明治18年7月16日から明治19年6月17日までであった中田駅が記載されています。利根川を渡る橋梁が鉄道開通に間に合わなかったため、上野駅から栗橋駅まで鉄道、栗橋駅から中田駅までは渡船、中田駅から宇都宮駅までは鉄道として開通しましたが、明治19年6月17日に利根川橋梁は完成し、上野駅から宇都宮駅まで直通となりました。約1年間しか存在しない中田駅が記載されていることは非常に貴重です。

東武日光線開通記念風呂敷には、東武伊勢崎線や東武日光線（計画図）だけではなく東武東上線の路線も描かれています。また、東武伊勢崎線西新井駅と東武東上線上板橋駅とを結ぶ東武西板線も見られます。西板線は昭和6年、西新井～大師前で一部を開業しましたが、昭和22年大師線に変更され、計画は廃止されました。



東武日光線開通記念風呂敷

この他、幸手鉄道の路線計画図も貴重なものです。明治44年頃のもので、当時の幸手町は県庁所在地の浦和や大宮より発展しており、県北の熊谷と並び最も大きな都市の一つでした。幸手鉄道は陸上交通のターミナルであった国鉄久喜駅と水上交通のターミナルであった関宿向河岸・関宿向下河岸、埼玉県で最も発展していた街の一つ幸手町を結ぶ路線です。残念ながら実現することはありませんでした。



幸手鉄道路線図

東武鉄道の杉戸工場は、宮代町の杉戸駅（現在の東武動物公園駅）の南隣にありました。現在の東武動物公園駅西口広場です。杉戸工場は昭和18年に浅草検車区杉戸支区として設置されました。昭和20年には杉戸工場と名称を変更しました。杉戸工場は貨物輸送を担う蒸気機関車の整備工場でした。東武鉄道は大正年間には電化していますので、客輸送は電車でしたが、貨物輸送には電気では力がないため、蒸気機関車を使用されました。昭和40年代になると鉄道による貨物輸送は衰退することで、蒸気機関車も使用されなくなりました。平成15年まで東武線では貨物輸送が行われましたが、貨物輸送の拠点が業平橋操車場です。貨物輸送がなくなったため、業平橋操車場が撤去され、東京スカイツリーが出来ました。



東武鉄道杉戸工場

杉戸工場で使用された制服や蒸気機関車ボイラーの耐火煉瓦や最高表示板、蒸気機関助手代理のメモも展示しています。メモには西新井駅付近で石炭を入れること、西新井先の跨線橋で煙を出すこと、人家が多い所では石炭を入れてはいけないことなども記されています。

杉戸工場や杉戸駅、その北側の百間2丁目一帯はあたかも東武鉄道の企業城下町のように昭和40年代までは栄えました。一時は東武鉄道社員や家族専用の病院や青年学校もありました。

この他には、明治29年頃の第2次鉄道ブーム時の鉄道計画路線の写真パネルや駅舎の古写真、明治時代の通運丸や古川丸などの蒸気船、宝珠花橋などの船橋の写真も展示しました。是非、宮代町郷土資料館へご来館ください。

開催しました

特別展「宮代町の指定文化財」および関連講座

郷土資料館では、平成28年10月29日(土)から12月25日(日)まで特別展「宮代町の指定文化財」を開催しました。

会場には、秘仏の仏像や石碑、天然記念物の樹木などのように、移動が難しいもの以外の指定文化財が一堂に会しましたが、これは町指定文化財第1号が誕生して以来、初めてのことでした。普段はなかなか拝見する事が難しい文化財も多くあり、貴重な機会となりました。

見学された方々からは、「住まいのすぐ近くの神社にこのような貴重なものがあり、指定文化財になっていることを初めて知りました。」「町指定の円空仏全てが展示されている様子は壮観ですね。」などといった感想が寄せられました。



円空仏 展示風景

そして、特別展の関連講座として講演会と歴史ウォークを、それぞれ3回ずつ開催しました。

講演会は「宮代町の指定文化財」という大きなテーマの中で、「鎌倉・室町時代の宮代町」を新井浩文先生、「仏像～円空仏を中心に」を西口由子先生、「西光院の歴史と文化財」を青木秀雄先生にと、それぞれの先生から貴重なお話をさせていただきました。参加された方の中からは、「歴史の教科書の中でしか認識できていなかった時代について、宮代町の中の具体的な文化財と結びつけてお話を聞くことができ、興味深く面白かった。」「阿弥陀三尊像や十一面観音像、円空仏など、それぞれについて具体的にお話がきけてよかった。」「西光院がとても古くからあるお寺であることをあらためて認識し、所有されている文化財についても詳しくお話が聞けて、とても素晴らしいと感じた。」などといった感想を寄せいただきました。



西口由子先生の講演風景

歴史ウォークでは、「文化財散策 ○○駅コース」と題し、町域にある3つの駅を起点・終点としてコースを設定しました。

「和戸駅コース」では、通常は25年に一度のご開帳を迎える西方院の十一面観音像が、特別展開催期間中のみ特別に見せていただけることとなったことから、この十一面観音像の拝観を中心に、和戸地区にあったお寺の跡地などを巡りました。江戸時代の絵図面と現在の様子を見比べながら、当時に思いを馳せました。

「姫宮駅コース」では、五社神社や旧埼玉県知事公舎、旗本永井氏の家臣であった青井七右衛門の墓(観音寺内)や陣屋と推定される中寺遺跡、鈴木雅樂助居館跡や姫宮神社などと巡りました。発掘の成果から導き出され



五社神社での風景

る推察や、絵馬殿かと思うほど絵馬がかけられた姫宮神社の拝殿は、より身近に昔の人々を感じることができました。

「東武動物公園駅コース」では、宮代市民ガイドクラブの方々が講師となり、新道集会所(旧百間中学校跡)や東小学校木造校舎、川島庚申塔群、桜稲荷、弁天社など、身近にある文化財を訪ねました。普段何気なく通っているところに、いくつもの文化財があることを改めて意識されたようでした。

特別展及び講演会、歴史ウォークを通して、宮代町の魅力を再発見していただけたことと思います。

開催しました

企画展「おひなさま」

平成 29 年という新しい年を迎ええた郷土資料館では、1月7日(土)から3月12日(日)までの期間、企画展「おひなさま」を開催しました。

展示されたひな人形は、いずれも住民のみなさまから寄贈していただ

いたものです。大正時代のものから昭和 40 年代後半のものまで、約半世紀にわたるひな人形を一堂に会する展示となりました。

お正月開けの、ひなまつりというにはやや早いタ



大正時代のおひなさま



昭和 37 年のおひなさま (木目込み人形)

資料館日誌抄

- 10月29日 特別展「宮代町の指定文化財」
～12月25日
- 11月22日 百間小学校1年生 自然と触れ合う (76名)
- 11月23日 特別展講演会「仏像～円空仏を中心に～」 (19名)
- 11月27日 特別展関連歴史ウォーク「文化財散策 姫宮駅コース」開催 (10名)
- 11月29日 デイサービスさくら物語資料館見学 (8名)
- 12月3日 特別展講演会「西光院の歴史と文化財」 (14名)
- 12月10日 特別展関連歴史ウォーク「文化財散策 東武動物公園駅コース」開催 (6名)
- 12月16日 彩の国いきがいの大学伊奈学園資料調査 (4名)
- 12月17日 第2回文化財保護委員会(和戸教会, 西方院視察)
- 12月22日 伝承旗本服部氏屋敷跡遺跡試掘調査
- 1月7日 企画展「おひなさま」
～3月12日
- 1月24日 笠原小学校3年生昔の暮らし・道具 (69名)
- 2月3日 百間小学校3年生昔の暮らし・道具 (86名)
- 2月4日 みやしろ市民ガイドクラブ資料館見学(10名)
- 2月8日 須賀小学校3年生昔の暮らし・道具 (64名)
- 2月10日 デイサービスみどりの森資料館見学 (25名)
- 2月10日 百間小学校3年生昔の暮らし職員派遣 (83名)
- 2月12日 金原初午祭「金原地区の歴史講演」職員派遣 (70名)

イミングでが企画展がはじまりましたが、展示会場が華やかな雰囲気となり、一足先に春が来てくれたような感じとなりました。

ひな人形は作られた年代により、表情や装束のデザインなどにも違いがあります。また浮世人形といって、能や舞踊などが題材となる人形と一緒に飾られることもあり、より華やかになっていました。

期間中は多くの方にご覧いただくことができました。見学された方の中には、人形個々の違いをじっくり観察されていた方もあり、「けっこう違うんですね」との感想を述べられていました。



昭和初期のおひなさま

旧加藤家住宅でも4月半ばまで雛人形を、その後は五月人形を展示します。あわせてご覧ください。

- 2月15日 東小学校3年生 昔の暮らし・道具 (41名)
- 2月22日 ツクイ春日部 おひなさま見学 (20名)
- 2月26日 進修館おひな祭り職員派遣 (25名)
- 2月27日 甲馬の会齊藤家住宅見学 (7名)
- 3月2日～ 加藤家住宅で季節展「ひな人形」開始
- 3月4日、9日 めぐデイサービス資料館見学 (20名)
- 3月14日 中遺跡試掘調査
- 3月18日 巡回展「埼玉県東部地区の交通」
～5月7日
- 3月19日 歴史講座「埼玉東部低地の人々の暮らし」 (31名)
- 3月22日 第3回文化財保護委員会

資料館寄贈者名簿 (敬称略)

金子良郎・青木千代子(民具)、柴崎タカ子(民具)
松村静子(民具)、篠原義明(資料)、吉岡勇一郎(民具)

宮代町郷土資料館だより えんがわ 第57号

発行日 平成29年3月30日

発行 宮代町郷土資料館

郵便番号 345-0817

住所 埼玉県南埼玉郡宮代町字西原 289 番地

電話番号 0480-34-8882

H P <http://www.town.miyashiro.saitama.jp>